

日本児童文学学会 第 64 回研究大会 プログラム

1. 開催日 2025 年 11 月 29 日(土)・11 月 30 日(日)
2. 会場 名古屋葵大学 南8号館
〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町 3-40
3. プログラム

【第 1 日目】11 月 29 日(土)

11:00～12:00	理事・評議員連絡会	会場は当日ご案内します
12:30～	受付開始	1 階 エントランスホール
13:00～14:30	研究発表Ⅰ 分科会①	南 8-211
	分科会②	南 8-212
14:45～16:15	研究発表Ⅱ 分科会①	南 8-211
	分科会②	南 8-212
16:25～17:25	学会賞授賞式及び総会	南 8-213
18:30～20:30	懇親会	ガス燈(桜通線今池駅直通)

【第 2 日目】11 月 30 日(日)

9:30～	受付開始	1階エントランスホール
10:00～11:30	研究発表Ⅲ 分科会①	南 8-211
	分科会②	南 8-212
11:30～13:00	昼食 ※各自でご用意ください	教室内及び教室前共有スペース(テーブル・イスあり)をお使いください
13:00～16:30	シンポジウム	南 8-403

11月29日(土)

受付は12時30分より南8号館1階エントランスホールにて行います。

—— 第1日目 ——

理事・評議員連絡会

11:00～

会場は当日ご案内します

研究発表Ⅰ 13:00～14:30

【分科会 ①】司会：浅岡靖央(白百合女子大学) 伊藤敬佑(白百合女子大学非常勤講師)

会場：南8-211

1. 1920年代の少女雑誌におけるフランス文化受容——『令女界』をめぐって

渡辺貴規子(大阪大学)

2. 伝記から読み解く武内俊子像

八幡眞由美(国立音楽大学)

3. 東京中央放送局「名作物語」(1934～1935)の研究 —關屋五十二の試み—

畠山兆子(梅花女子大学名誉教授)

【分科会 ②】司会：齋木喜美子(関西学院大学) 土居安子(大阪国際児童文学振興財団)

会場：南8-212

1. 上橋菜穂子『狐笛のかなた』における身体表現 —五感・変身・身体と世界—

伊藤かの子(白百合女子大学大学院博士後期課程)

2. 15年戦争期における東アジア児童文学 ～国分一太郎と『戦地の子供』～

成實朋子(大阪教育大学)

3. 香港の児童雑誌『新児童』にみる投稿欄の役割

浅野法子(大阪成蹊短期大学)

—休憩—

研究発表Ⅱ 14:45～16:15

【分科会 ①】司会：黒川麻実(愛知県立大学) 宮川健郎(大阪国際児童文学振興財団)

会場：南8-211

1. 「民主保育連盟」による幼年童話の創作活動：児童文学者協会共編『子供に読んで聞かせるお話の本(全4巻)』(羽田書店、1949年-1950年)を中心に

浅野俊和(中部大学)

2. ブックガイドに見る古田足日の「童話」・「児童文学」評価

——「小さい仲間」の会編『子どもの本棚』(1956年刊)の場合——

佐藤宗子(千葉大学名誉教授)

3. 出口のないごっこ遊びと変革への潜勢力——小沢正『はらべこのオニごっこ』論

原みなと(早稲田大学)

【分科会 ②】司会:今田由香(日本女子大学) 佐々木由美子(東京未来大学)

会場: 南 8-212

1. 児童絵本の捉え方への考察:「絵本文化」の諸相を背景に

永田桂子(京都女子大学大学院(元非常勤講師))

2. 南吉童話をもとにした絵本の変遷 —幼年童話「二ひきの蛙」の受容を中心に

林美千代

3. V. L. バートンにおけるページめくりのダイナミズム —『ちいさいおうち』を中心に—

村田康常(名古屋柳城女子大学)

学会賞授賞式・総会 16:25~17:25

会場: 南 8-213

懇親会 18:30~20:30

会場: ガス燈(名古屋市千種区今池

1-8-8 今池ガスビル 8F、地下鉄桜通線及び東山線今池駅 10 番出口直結)

11月30日(日)

受付は9時30分より南8号館1階エントランスホールにて行います。

第2日目

研究発表Ⅲ 10:00～11:30

【分科会 ①】司会：内ヶ崎有里子(岡崎女子大学名誉教授) 中川理恵子(白百合女子大学非常勤講師)

会場：南8-211

1. 巖谷小波と水落露石

—巖谷家所蔵「巖谷小波絵はがきコレクション」を手がかりとして—

土居安子(大阪国際児童文学振興財団)

2. 木村小舟の社会教育観 —『少年世界』を事例として—

目黒強(神戸大学)

3. 口演童話史の再編に向けて —雑誌『童話研究』を手がかりに

宮路大朗(早稲田大学大学院博士後期課程)

【分科会 ②】司会：宮田航平(東京都立産業技術高等専門学校) 武藤清吾(琉球大学名誉教授)

会場：南8-212

1. 松谷みよ子「太郎三部作」の一考察

来栖史江(大阪樟蔭女子大学)

2. 松谷みよ子「直樹とゆう子の物語」を考える —『屋根裏部屋の秘密』を中心に

大沼郁子(福島県立医科大学非常勤講師)

3. 綾とアヤ —「たずねびと」(朽木祥)における脱集計化と核の記憶のケア

西田真奈(早稲田大学大学院修士課程)

—休憩—

シンポジウム 13:00～16:30(14:05～14:15 休憩)

会場：南8-403

児童文学のいま—2000年以降の児童文学を考える—

コーディネーター：幾本(松永)幸代(飯田短期大学)

基調講演：上村 令(児童書編集者)

登壇者：奥山 恵(ハックルベリーブックス、白百合女子大学非常勤講師)

右田ユミ(彩都の丘学園 図書館司書)

小林夏美(聖学院大学非常勤講師)